

# 鳳来寺山 山行報告

【山城】 奥三河

【日程と天気】 2018年11月23日(日) 快晴

【メンバー】 CL 菅井 会員外1

【行程】

22日

千葉 17:40-20:35 JR 松戸 20:45-松戸 IC-24:05 静岡 SA(車中仮眠)

23日

静岡 SA 6:20-7:10 鳳来寺入口国道駐車 7:30-7:50 石段入口-8:25 本堂-8:30 東照宮-  
-9:30 天狗岩-9:50 山頂-10:05 瑠璃山-10:25 奥の院-10:30 本堂-11:10 石段下-  
-1:15 博物館 11:50-12:10 駐車場

【報告】

労山全国登山者研究集会(23日13:00~24日11:45)の前に会場近くの手頃な山に登る事を考え、鳳来寺山に行くことになった。22日夜新東名を快調に進み24時過ぎになったので静岡SAに入る。ほぼ満車状態だったが運良く小型車エリアに駐車。テントを持って行ったが、周囲は静かなので車中泊にした。

23日朝SA食堂でうどんを食べ鳳来寺山に向かう。国道から舗装された参道を進むと、なにやら周囲が祭りの気配がする。もみじ祭で8:00からは車は通行止めで出られないとのことで国道に戻り駐車。普段は無料だが、もみじ祭の期間中は700円だ。いろいろな出店の準備を見ながら進む。やがて1425段もの長い石段が見えてきた。石柱の前には鳳来寺山の自然についての説明が書かれている。階段の両側には真言宗と天台宗の寺院の跡がいくつもある。四分の一程登ると徳川家光が寄進した仁王門もある。所々に石仏もある。勾配もきつくなりいやになる頃、やっと本堂が現れる。

鳳来寺は1300年前(西暦709)利修という仙人が三匹の鬼を従え鳳凰に乗って飛来し開山し、仙人は300歳まで生きたと言われている。本堂の裏には高さ70m幅250mもの鏡岩がそびえている。



本堂の右から少し進むと家光の指示で建立され国指定重要文化財の蓬莱山東照宮がある。東海自然歩道となっている山への登山道は東照宮の階段を上り左側に続いている。ここからは尾根までほぼなだらかな歩き易い登山道が続く。尾根上は小さなアップダウンを繰り返しながら少しずつ高度をあげる。



尾根上天狗岩からの展望



鳳来寺山頂



瑠璃山から棚山方面東海自然歩道

尾根の中間付近に天狗岩という岩峰があり展望台になっている。鳳来寺山頂は立木に囲まれ手遠望は良くない。山頂から棚山方面に続く東海自然歩道少し行くと見晴らしの良い岩峰の瑠璃山につく。瑠璃山から続く岩稜にはポールと鎖がついている。

我々はここで引き返す。鳳来寺奥の院へ続く登山道は、本堂の上で倒木のため石段が壊れ通行止めになっていた。

本堂からの長い階段では、紅葉祭りに参加した大勢の人達が登ってきていたがかなり大変そうだった。

階段下ではホラ貝の試し吹きと販売をしていた。石段下の博物館に寄りこの地方が中央構造線近くの複雑な地質であることを知らされた。